

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38150
事業名	安全で安心な公共空間整備促進費					
評価担当課	所 属	市)地域振興部 区政課			電話番号	011-211-2252
施策名	犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されています					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	地域の防犯活動を補完する役割を持つ防犯カメラの設置を促進するため、市民からの寄付金を原資として平成30年度から事業を開始した。 防犯カメラを設置した町内会からは、地域の防犯意識向上や声掛け事案の減少など、一定の効果を認める意見が寄せられており、令和5年度は過去最高の補助台数となった。 少子高齢化による町内会の担い手不足や運営経費の厳しさが増す中、町内会活動を支援し、凶悪犯罪の早期解決につながる本事業は、犯罪のない安全で安心なまちの実現に寄与する。
	事業内容(何を実施し)	地域における犯罪の抑止を目的として、町内会に対し防犯カメラ設置にかかる費用を補助する。令和5年度は、25町内会に対し、計87台の防犯カメラ設置にかかる費用を補助した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	犯罪の未然防止、事件の早期解決に役立つツールとして、市と市民による防犯カメラを活用した防犯施策の構築を行い、犯罪のない安全で安心なまちの実現を目指す。
	他都市の状況	他政令市における防犯カメラ設置補助制度:20市すべて実施 ※大阪市は西成区で独自に実施 ※熊本市は、市からの補助金を財源として防犯協会が実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	14,261 千円	うち特定財源	14,261 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度予算額	17,738 千円	うち特定財源	17,738 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度決算額	15,948 千円	うち特定財源	15,948 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和6年度予算額	18,000 千円	うち特定財源	18,000 千円	正規職員業務量	0.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	町内会等への補助により市内に防犯カメラが設置された数		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		310	379	397	448	517	586
	↓						
	アウトカム成果指標1	犯罪被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまちだと思う人		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		47.1	49.6	46	52.1	54.6	57.1
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	これまで減少が続けていた刑法犯認知件数が令和4年から増加に転じており、体感治安の悪化を招いていることが成果指標1の結果に表れている一方で、活動指標1については、活用促進の取組により令和5年度は過去最高の補助台数となったことから、防犯カメラの効果を期待する機運が高まっている。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2			という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	これまで申請順に補助を行っており、予算上限に達した時点で受付を終了することとしていたが、申請を希望する町内会に広く補助を行うことができるよう事前エントリー制度を導入した。
来年度以降の方向性	これまでの補助実績や今後の申請見込みを踏まえ、他都市の補助制度の実施状況などを参考にしながら、事業継続の必要性も含め今後の補助制度の在り方について検討を要する。